

# 県政だより みえ

三重県の県政情報をお届けします

# 7

平成29年(2017)

No.396

- ◎広報紙  
毎月1日発行
- ◎データ放送  
毎週木曜日更新

「県政だより みえ」は政策情報を中心に、毎月第一日曜日に新聞折り込みでお届けしています。イベントやお知らせなど暮らしに役立つ最新情報はデータ放送でご覧いただけます。

知事が行く!  
突撃取材!

裏表紙をご覧ください。

～鳥羽商船の学生の  
アイデアが地域を支援～

三重の未来を担う  
人材を育てる先生

## 「防災の日常化」 をめざして



近年、国内では局地的な大雨が頻発し、甚大な浸水被害や土砂災害が発生しています。

今年の夏も台風や集中豪雨による暴風や高潮、洪水、土砂災害などの被害が心配されます。

災害時に備え、自分や家族の命を守るために必要な準備や避難の方法について、日ごろから確認しておきましょう。

### 防災の日常化とは?



ほかせ  
なまず博士

災害への備えが特別な活動ではなく、日々の生活と一体となった当たり前の活動となることです。

### 災害に備えるための確認事項

- 最寄りの避難場所
- 安全な避難経路
- 家族や近隣住人との連絡方法
- 非常持ち出し品の用意  
※食料、飲料水、ラジオ、タオル、衣類、携帯電話(充電器)、懐中電灯、常用の薬、現金(小銭) など
- 災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法 など

# 災害から命を守る 適切な情報収集と早めの避難!

昨年8月の台風10号では、東北地方・北海道の各地で甚大な被害が発生しました。特に岩手県では、グループホームが被災するなど、高齢者が相次いで災害に見舞われました。行政からの避難情報や気象情報をはじめ、テレビやラジオなど信頼できる情報を正しく理解し、早めの避難行動がとれるよう、適切な情報をすぐに確認できるようにしておきましょう。

## 市町が発表する避難情報の名称が変わりました

高齢者等が避難を開始する段階などを明確にするため、避難情報の名称が変更になりました。危険を感じたら自らの判断で早めに避難することが何よりも大切です。

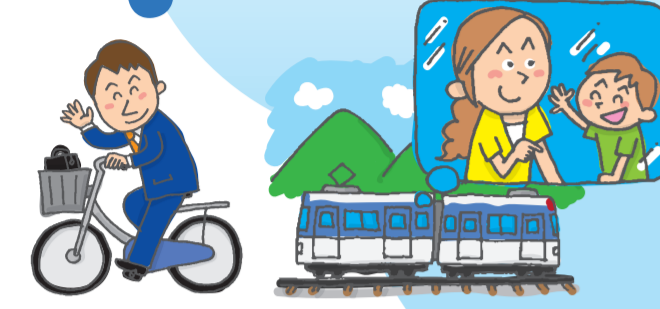
変更前	避難指示	避難勧告	避難準備・高齢者等避難開始
変更前	避難指示	避難勧告	避難準備・高齢者等避難開始
変更後	避難指示(緊急)	避難勧告	避難準備・高齢者等避難開始

人的被害の発生する可能性が高まった時に発表されます。  
お年寄りの方、体の不自由な方、小さな子どもがいる方など、避難行動に時間を要する方は避難を始めましょう。

前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された時に発表されます。  
直ちに避難し、外が危険な場合は屋内の高い場所に避難することも検討しましょう。



# 公共交通をかしこく使う 「モビリティ・マネジメント」



## 「モビリティ・マネジメント」

とは、一人ひとりが日々の生活における移動手段を見つめ直し、用件などに応じて、自家用車とバス、鉄道、タクシーなどの公共交通機関や自転車、徒歩等を適切に使分けけることで誰もが暮らしやすい社会にしていこうとする考え方です。



## さまざまな交通手段を取り入れた暮らしを考えよう

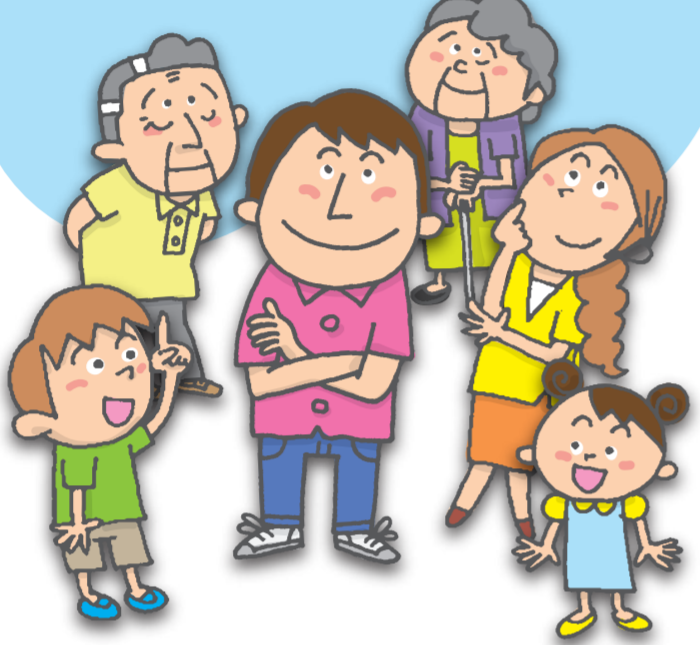
『今日のお出かけは近くの駅まで自家用車で、駅からは電車で移動』(パーク&ライド)や、『普段はマイカー通勤だけど、週に1回はバス通勤』など、自分のことから始めてみませんか。いつもより会話が弾むなど、新たな気づきや発見があるかもしれません。

(※2)「みえエコ通勤デー」マイカー通勤の方は、毎週水曜日にバス運賃が半額になります。(要事前申込)

## 通勤、通学、お買い物など、日々の移動手段は?

いつでもどこでも、荷物があっても自由に移動できる自家用車はとても便利です。しかし、その一方で公共交通機関の利用者は減少(※1)し、バスや鉄道などの路線廃止や減便が進んでいます。今後、高齢化社会の進展とともに、自家用車の運転に不安を感じる方が増え、公共交通の重要性は高まります。将来に向け、地域の公共交通をどのように確保していくかをみんなで考えていく必要があります。

(※1)平成27年度 三重県の乗合バス輸送人員2,886万人(ピーク時(昭和39年度)の21.4%)



### 三重県総合博物館(Mie Mu) 第16回企画展 みんなのりもの大集合

この夏、三重をのりつくろう!

期間：7月8日(土)～9月18日(月・祝)  
料金：一般800円、学生480円、高校生以下無料

三重県は、日本の「のりもの」の歴史について、はじまりから最先端まで見る事ができる数少ない地域です。企画展では、鉄道を中心にバスや船、ロープウェイなどさまざまなもののが大集合します。

問い合わせ先 三重県総合博物館(Mie Mu)  
059-228-2203  
059-228-8010  
MieMu@pref.mie.jp

津駅西口から三重交通バス利用約5分

## 「公共交通には、多くのメリットがあります」

子どもたちが社会のマナーを学ぶ絶好の機会!

交通渋滞の緩和にも一役!

交通事故の防止と安全安心なまちづくり!

健康増進、ダイエットにも効果大!

問い合わせ先 地域連携部 交通政策課  
059-224-2805 FAX 059-224-2418  
kotsu@pref.mie.jp

— 私たちの暮らしを支える公共交通機関をみんなで利用しましょう —

# 地域の安心と安全を守る 「消防団」をみんなで支援!

地域防災の要となる消防団は、防災啓発活動や消防訓練、災害発生時における救助活動など地域の安心と安全を守る活動を行っています。三重県消防協会では、県と連携し、現在、減少傾向にある消防団員の確保や消防団の活性化など地域防災力の強化に取り組んでいます。

## 「みえ消防団応援の店」制度を10月から開始します。

「みえ消防団応援の店」制度は、消防団員とその家族を地域ぐるみで支えることを目的に、登録店舗が消防団員等にポイントや割引などのサービスを提供する制度です。



問い合わせ先 三重県消防協会  
三重県防災対策部 消防・保安課内  
059-224-2108  
059-224-3050  
mie消防団応援の店 検索

登録いただける店舗を広く募集しています。地域を守る消防団を支えていくため、本制度にご協力をお願いします。

### 伊勢志摩サミット記念館「サミエール」

場所/近鉄賢島駅2階 入館料/無料  
開館時間/9時～17時 年中無休

国際メディアセンターアネックスで使用されたガラス看板、ヒノキの柱、木製の簾や黒壁など、和をテーマにした館内装飾が行われています。

実際に使われた尾鷲ヒノキの円卓やG7首脳等が記した芳名帳が記した雰囲気リアルに再現しています。実際に椅子に座って記念撮影もできます。

SNS投稿キャンペーン  
募集期間：7月1日(土)～7月31日(月)  
8月1日(火)～8月31日(木)

抽選でプレゼント (レプリカType C) 松阪牛すき焼き肉 など

※詳しくは、ホームページをご覧ください。  
お問い合わせ先 伊勢志摩サミット三重大区議事事務局 (雇用経済部 国際戦略課)  
059-224-2044  
059-224-2044  
kokusen@pref.mie.jp



第16回

~鳥羽商船の学生のアイデアが地域を支援~

# 三重の未来を担う人材を育てる先生

## 地域の課題解決につながる研究

東南海地震などへの備えや獣害など、地域が抱える課題の解決に向けたシステム開発を行う鳥羽商船高等専門学校(えびののび)の皆さんを訪ねました。校庭では、江崎 修央先生と学生の皆さんが、防災減災地図作成システム「みつばちず」の研究の真っ最中。ドローンが上空から町の様子を撮影し、事前に危険箇所を確認。災害時には被害状況等を把握できます。誰もが簡単に操作できるよう、学生の皆さんが自動運航システムを作ったそうです。私も操作しましたが、とっても簡単。ボタン一つで目的地まで飛んでいきます。「このシステムは、昨年の全国高等専門学校プログラミングコンテストで最優秀賞を獲得し、既に志摩市内や伊勢市内の地域で実証実験を進めています」と江崎先生。ヘリコプターを使った被害状況の確認は1回行うだけでも多額の費用が必要ですが、ドローンを活用すれば低コストで何度も利用できるようになります。画期的ですね。

次に、江崎先生の研究室を訪問。現在開発を進めているさまざまな研究について紹介いただきました。



## 最先端の仕組みを三重で考案

江崎先生は、「システム開発は、利用者の方から話を聞き、利用者目線で開発することが大切。利用者の喜びの声が研究を進める原動力になる。そのため、学生にはコミュニケーション能力を身に付けてほしい」と言います。

また、先生が学生の皆さんに期待することを聞くと「最先端のシステム開発はどこにいてもできる。伊勢志摩は地域の課題解決を実証する最適の地。将来は地元で起業し、地域の発展に貢献してもらいたい」と話していただきました。その言葉に応えるように、学生の服部 魁人さんは「地域の人困っていることを解決し、支援するシステムを開発したい」と夢を語ってくれました。心強い言葉に、皆さんの今後の活躍が楽しみになりました。県としても高等教育機関と連携して、地域の課題解決にこれからも取り組んでいきたいと感じた取材でした。



取材/知事 鈴木英敬



三重で活躍する人材を育てたい!



「利用者の声を大切にしよう学生に指導しています。将来、地域の課題を解決する技術を開発し、三重の産業を支える人材を育てたい」と話す江崎先生。



地域の防災減災に役立てるため、誰でも簡単にドローンの操縦ができるシステムを開発しました。



限られた人員で獣害対策が行える「まるみえホカクン」。完全自動で動物を捕獲できます。

- 「知事が行く! 突撃取材!」のインタビュー詳細版はホームページで。[県政だより みえ](#) Q検索
  - 取材の様子は三重テレビ「県政チャンネル ~輝け! 三重人~」で7月14日(金) 22時45分から放送します。
  - 三重テレビで放映した取材の様子(動画)を、7月15日(土)よりYouTubeでも配信。[※放送時間が変更になります。](#)
- 問い合わせ先 .....  
 戦略企画部 広報広報課 ☎059・224・2788 FAX059・224・2032 ✉koho@pref.mie.jp

「県政だより みえ」・三重県データ放送「暮らしの便利帳」・三重県総合博物館 (MieMu)

特別企画 応募期間 7/1(土)▶7/25(金) ※ハガキは7月25日消印有効

## 三重県データ放送「暮らしの便利帳」(三重テレビ+「d」ボタン)を見て、プレゼントを当てよう!

抽選で次のいずれかが当たります!

- A** 三重県総合博物館(MieMu)内 秘密のツアー 9月10日(日)実施 **3家族**  
1家族5名様まで  
親子(小学生以上)をご招待、学芸員がご案内する今回の特別企画。お土産とCotti菜(こっちな)ランチ付き!
- B** 伊賀の美味しいもの詰め合わせ **10人**  
データ放送7月のゲームは伊賀の旅。忍者の里からスペシャルな旅土産をプレゼント!

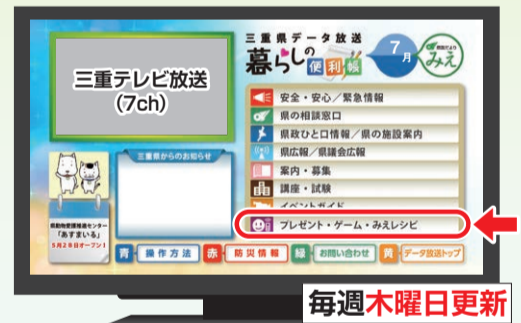
「プレゼント・ゲーム・みえレシピ」を見て、次の①、②の両方をハガキまたはメールに記載して応募してください。

- ① ゲームに参加して表示されるキーワード
- ② 「県政だより みえ」をお読みになった感想・意見

応募方法は三重県データ放送「暮らしの便利帳」にあります。

三重県データ放送は  
三重テレビ7チャンネル+  
リモコン「d」ボタンで選択!

暮らしの便利帳



毎週木曜日更新

県ホームページでも「県政だより みえ」「声の三重県だより」を配信しています。 [県政だより みえ](#) Q検索

編集・発行/三重県広報広報課 「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。

〒514-8570(住所不要) 三重県広報広報課

☎059-224-2788 FAX059-224-2032 ✉koho@pref.mie.jp 県庁電話案内(各課ご案内) ☎059-224-3070

三重県の人口・世帯数 人口/1,800,166人(男性:876,501人 女性:923,665人) 世帯数/728,818世帯 平成29年5月1日現在



この印刷物は、印刷用の紙をリサイクルしています。



三重県は環境保全活動を推進するシンボルとして、Eコマースを使用しています。



この広報紙は、再生紙と環境にやさしい植物油インクを使用しています。

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属するものです。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ホープ(☎092-716-1404)までお問い合わせください。

**弁護士法人 心** 夜間・土日相談可 (要予約) 広告

相談料0円 (交通事故被害・後遺障害・過払い金・借金・相続・遺言以外は初回30分程度)

交通事故・後遺障害 損害賠償額 適正等級 無料診断サービス実施中

企業法務・労働・交通事故・後遺障害 過払い金・借金・相続・遺言・離婚・刑事他

過払い金 無料診断サービス実施中 着手金0円 (報酬回収額の18%税別) (完済済みの場合)

遺言書 無料診断サービス実施中

名古屋駅法律事務所 <愛知県弁護士会> 名古屋駅 0.5分

名古屋みなと法律事務所 <愛知県弁護士会> イオンモール名古屋みなと内 (荒子川公園駅 5分)

岐阜駅法律事務所 <岐阜県弁護士会> 岐阜駅 3分

津駅法律事務所 <三重県弁護士会> 津駅 0.5分

松阪駅法律事務所 <三重県弁護士会> 松阪駅 1分

東京駅法律事務所 <東京弁護士会> 東京駅 3分

所属弁護士 43名!!

平日9時~22時 受付 (祝日・国民の休日 12時~18時 受付) (その他臨時休日もございます)

よいにしおさん 0120-41-2403 (一般電話:052-485-6003) 詳細は⇒ <http://kokoro.la>

**eisu** 夏期講習 7/24(月)START 広告

突き抜ける、夏。

eisu 総本部 TEL 059-227-6444(代) [電話対応時間] 火~土の11:00~20:00 WEB <http://www.eisu.co.jp>